

意見書案第5号

平成25年 3月25日

白老町議会

議長 山本浩平様

提出者

白老町議会議員 松田謙吾

賛成者

白老町議会議員 小西秀延

白老町議会議員 前田博之

白老町議会議員 吉田和子

白老町議会議員 大淵紀夫

環太平洋経済連携協定（TPP）への交渉参加に反対する意見書（案）

標記の意見書を別紙のとおり、白老町議会会議規則第8条の規定により提出いたします。

環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）への交渉参加に反対する意見書（案）

ＴＰＰ交渉への参加は、農業ばかりでなく、医療・社会福祉、金融・保険、労働市場などに及び、我が国の産業・経済・社会の根幹を揺るがす重大な問題であり、国民の重大な関心事である。

特に、本道農業は我が国最大の食糧供給地として、専業農家を主体として良質な農畜産物を安定的に供給してきており、今後とも国の食糧安全保障において主体的な役割を果たしていかなければならないが、耕地面積や社会条件等が大きく異なる米国や豪州などの農畜産物輸出国との競争力格差は極めて大きく、重要品目の関税が撤廃された場合は、本道の農林水産業とそれに伴う関連産業の継続が困難となり、自然環境と地域社会の崩壊が懸念される。

しかしながら、国の情報提供は極めて不十分で、議論をすることすらできない状況であるにもかかわらず、交渉参加を判断しようとする事は許されない。

よって、地域社会や経済・雇用などに取り返しのつかない甚大な影響が生じるＴＰＰ交渉への参加を行わないよう断固反対するものであり、国会及び政府は、このことを重く受けとめ、毅然と対応するよう強く要請する。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出いたします。

平成２５年 ３月 日

北海道白老郡白老町議会議長 山本浩平

（提出先） 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、経済産業大臣、
農林水産大臣